

『そこにいた』 作：ポチ子

『そこにいた』 作…ポチ子

彼女はずっとそこにいた。

いつの時代も、

彼女はいたのだ。

なのに皆、

彼女を初めて見たかのように驚き怯えている。

彼女は常に、

誰の隣にもいる。

姿かたちを時々変えて、

私たちの隣にいる。

いつも目に見えるところにいる。

逸らせないくらい、

近くにいる。

だから私たちはいつも彼女に怯えているのだ。

分かりやすく、

目立っているから。

彼女は何もしてこない、

ただそこにいるだけだ。

いつも、

そこにいるだけなのだ。